

## ライティングの実践例

### ■タスクの設定で意識すること

トピックは？ 書く目的は？ 読み手は誰？ 個人で書くのか、それとも共同作業で？ 評価はなにに重点を置くのか？（accuracy? fluency? product? process?）ほかの3技能との統合はどの程度図るのか？ 作品の長さは？ 時間配分は？

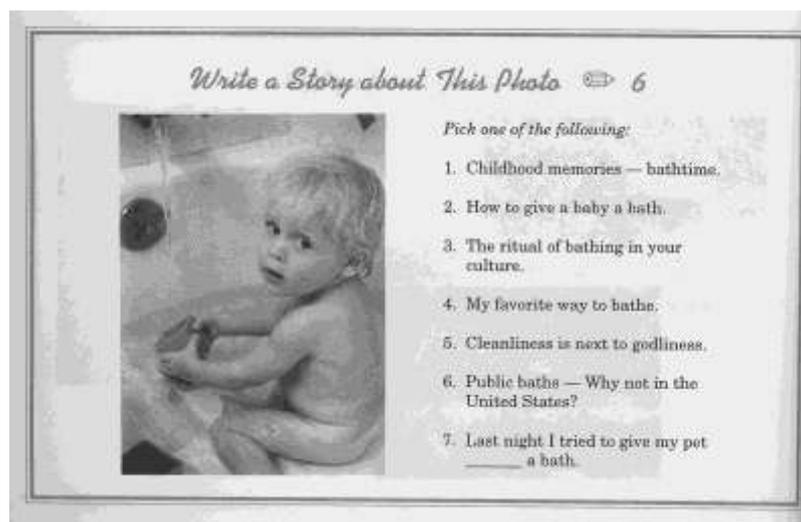
### ■添削-書かせたのはいいが山積みの作品をどう処理するのか？

手間のかからず、かつ効果的な方法で定着を図る

- ①生徒同士の proof-read を経て、清書させてから ALT へ。最終的に JTE。
- ②作文の評価規準と基準を明確にしてそれだけを添削、評価。必要以上の完璧さは求めない global にみるか local にみるか？

### 例1 絵を使ったライティング

描写型タスクにも予測型タスク（これからどうなるか、人間関係など）に使える。アメリカの画家 Norman Rockwell 等の絵は使いやすい。



Arlene Marcus, *Writing Inspirations: Photocopyable Masters* (1996)

## **例2 リーディングからライティングへ**

要約する、部分的に空所にして（または結末を空所）予測させる、トピックについて自分の意見や気持ちを書いてみる

## **例3 習った文法項目を使ってオリジナルの英文を書く。**

## **例4 3分程度のフリーライティング、最後に口頭で発表する。**

## **例5 Eメール交換、チャットの利用。**

## **例6 エッセーコンテストへの出品**

モデルパラグラフの提示と書写→ルールを教える：600語程度ならボディは2から3パラグラフ、トピックセンテンスの位置、トピックセンテンスのまとめかたなど→テキストパターン（chronological order, comparison and contrast など）を教える→書き始める、ドラフトは2回提出→清書

## **例7 ジャーナルライティング** 日記を書いて定期的に提出。

**例8 ニュースペーパーレポート** 読んだ新聞の記事を要約したり、それについて自分の意見を書いたりする。

**例9 英字新聞作り** ペアで記事を作成。新聞はグループごとに。1名編集者を割り当てる。；新聞全体の構成を考える役割。インタビュー、趣味のコーナー、町について調査したこと等を載せる。

## **例10 ディベートで行ったことをレポートに**

